

## 平成31年度 第3回市長タウンミーティング概要

と き：平成31年4月14日（日）  
午後2時～3時30分  
ところ：南公民館  
参加者：109人

### ○市長あいさつ

（市長より、平成31年度の施策・予算についての説明が行われました。）

### ○意見交換

#### 質問(女性)

幼稚園に通っている子どもが、錦町にあるプレーパークで遊んでいます。今年の8月で閉鎖となり、次の場所も決まっていないと聞いています。プレーパークのような子どもたちが自由に遊べる場所が必要だと思いますので、検討をお願いします。

#### 回答(市長)

現在、プレーパークとしてご利用いただいているちびっこ広場については、地主さんにお借りしているもので、区画整理の進展に伴い、閉鎖をせざるを得ない状況です。

プレーパークは、都市化されて自然の少ない蔵において、子どもたちが自然の中で、体力や創造力、自主性、協調性を高め、豊かな心や体の成長を促す大切な役割を果たしていると認識しています。先日の市長面会でも、子どもたちから「プレーパークをなくさないで」とのメッセージをいただいております。現在、新たな候補地について、活動団体の皆さんと協議しています。今後も、プレーパークが継続できるよう支援していきたいと考えています。

#### 質問(女性)

私の母は南町4丁目に住んでいますが、最近は歩くのが困難なり、家にこもりがちになっています。外出することが好きのため、バスなどで気軽に外出できる環境整備を望んでいます。ぷらっとわらびのルート拡充について、3月の市議会で反対意見がでたと聞きましたが、今後も高齢化が進み、母のように外

出支援を必要とする人は多くなると思いますので、ぷらっとわらびのルート拡充をお願いします。

### 回答(市長)

ぷらっとわらびは、高齢者をはじめ、子育て世代や障害を持つ方など、年間20万人の方が利用しています。特に、超高齢社会を迎えるなかで、高齢者の方が外出する機会を増やし、健康づくりや仲間づくり、生きがいくりにつながる重要な役割を果たしていると考えています。

また、この度のぷらっとわらびのルート拡充については、これまでも、市長タウンミーティングや子育て世代との懇談など、様々な機会でご意見をいただいております。アンケートにおいても、西ルートでの逆回り運行をはじめ、市役所や市立病院へのアクセス向上、河鍋暁斎記念美術館付近のバス停の新設など、多くの声が寄せられています。市では、こうした声にお応えするため、今年度予算において、ルート拡充・増便を図るための予算を計上いたしました。しかしながら、3月市議会において、ルート拡充・増便については、総合的な交通政策の観点から再度検討をした方がよいのではないかとの付帯決議がありましたので、今後、議会とも協議を重ね、誰もが気軽に外出できるまちづくりを進めていきたいと考えています。

### 質問(男性)

先ほどの方の質問と重複しますが、ぷらっとわらびのルートの拡充をぜひ、お願いします。また、市議会では、代案としてデマンドバスの話も出ていることですが、デマンドバスのメリット・デメリットを教えてください。

併せて、これはお礼になりますが、雨の日は、南公民館近くのバス停に大きな水たまりが出来て困っていましたが、市に改善をお願いしたところ、側溝を改修していただき、水たまりが解消されました。ありがとうございました。

### 回答(市長)

デマンドバスは、電話などでの利用予約をもとに、できるだけ多くの予約を束ねて1台に相乗りする交通システムです。主に、交通網が行き届いていない地方都市で導入されるケースが多く、利用者の要求に応じ、指定の場所から場所への移動ができるとともに、大勢が乗り合うことで低価格な移動サービスが可能になると言われています。

その一方で、人口密度の高い地域では、指定の場所が多岐にわたり、その要求に応えるための車両の確保が間にあわず、予約に応じられないことや、一人

での利用となり、1台あたりの経費が高くなることがデメリットとしてあげられています。実際に、県内の導入事例では、予約の4割に応じられなかったとの報告があげられており、都市部である蕨には、ぷらっとわらびの運行が合っていると考えていますが、今後、議会に丁寧に説明し理解をいただきながら、取り組みを進めていきたいと思っています。

#### 質問(女性)

蕨駅西口再開発の件について、図書館を整備すると伺いましたが、今南町にある本館はどうなるのでしょうか。残ったまま新しく西口に整備されるのか、現在の本館がなくなり西口に新しく整備されるのか。どちらになるのか教えてください。

#### 回答(市長)

図書館は、昨年11月に策定した蕨駅西口地区市街地再開発事業の公共公益施設の方針において、駅前に新しい図書館で整備することに伴い、移転することといたしました。図書館は、公共施設の中でも利用者が大変多い施設であり、駅前に整備することで、これまでの利用者に加え、駅を利用する学生や会社員なども気軽に利用できるようになるなど、市民の皆さんの利便性の大幅な向上が期待できます。また、多くの人が行き交うことで、再開発におけるにぎわい創出につながるものと考えています。更に、再開発において図書館を整備することにより、老朽化が進んでいる現図書館の大規模改修が不要となり、そのことに伴う長期間の休館も避けられるなど、多くのメリットがあると判断しています。施設の内容につきましては、今後、アンケートや図書館協議会委員等で検討していき、市民の皆さんが利用しやすい施設にしていく予定です。

#### 質問(男性)

2つ質問があります。1点目は、防災行政無線の件ですが、非常に聞きづらいので改善できないのでしょうか。

2点目は、商店街が保有している街路灯についてです。今後、仮に商店街がなくなった場合、その街路灯はどのような形で継続されるのか教えてください。

#### 回答(市長)

防災行政無線による放送につきましては、毎月の保守点検をはじめ、随時音量やスピーカーの向きを調整するなどの対応を図ってきましたが、住宅の気密

性が高くなっていることや市域の関係による音の反響など、全ての皆さんに聞きやすい放送をお届けすることは難しい状況です。こうした難聴対策として、放送内容をテレビ埼玉や蕨ケーブルビジョン、市ホームページ通じて、リアルタイムに提供しています。更に、避難情報など特に緊急性の高い情報については、より多くの皆さんに迅速かつ確実に伝達するため、市内にいるNTTドコモ、au、ソフトバンクモバイルの携帯電話所持者の方に、緊急速報メールを配信することとなっています。

また、電波法の改正により、現在のアナログ放送が使用できなくなるため、デジタル化を予定しており、今後、移行のための設計や実際の移行をしていくなかで、市民の皆さんに必要な情報がしっかりとお届けできるような方法を検討していきます。

商店街の街路灯については、商店街が電気料を負担していますが、元気な商店街づくりに向け、市長就任当初は4分の1であった商店街街路灯の電気料の補助率を、平成20年度に4分の1から3分の1へ、平成23年度に2分の1へと順次引き上げ、商店街の負担軽減を図ってきました。また、平成25年度には、LED化した商店街街路灯の電気料の補助率を2分の1から3分の2に引き上げ、街路灯のLED化を促進してきました。こうした取り組みにより、商店街が負担する電気料は、平成19年度に685万円だったものが、平成29年度には190万円まで削減されており、今後も、補助率の拡大など、商店街が街路灯の維持管理ができるよう検討していきます。

#### 質問(男性)

防災の関係でお伺いしますが、南町ポンプ場自体の浸水対策はどうなっていますか。

#### 回答(市長)

台風や集中豪雨時に発生しやすい内水による浸水に対しては、ハザードマップでも示しているとおおり浸水しない想定となっています。また、計画降雨を超えるような事態に備え、ポンプ場内の機械類が浸水しないよう、万が一の場合には、流入ゲートを閉鎖する仕組みとなっています。しかしながら、荒川の氾濫による洪水では、浸水想定水位が3mと予想されており、現ポンプ場では対応が困難なことから、必要な支援を得るために日本下水道管路管理業協会等と災害協定を締結するなど、非常時の応急復旧体制を整えているところです。

※ご質問いただきました内容に関して、担当課の確認など、その場でお答えできなかった内容を、加筆・修正して公開しています。